

巻頭言

情報学研究所所長 立田ルミ



今年も「情報学研究第4号」の巻頭言を書く時期がやってまいりました。第3号を出版したのが、まるで昨日のように感じられる程、月日の経つのが早く感じられます。この号で、私の情報学研究所所長としての任期がおしまいとなり、4年間を振り返ってみて感慨深いものがあります。

かねてより、同じ役職をあまり長く続けることはよくないとは思っていましたが、いざやめるとなるとあれもこれもやっておけばよかったと反省することが多い次第です。

「情報学研究第4号」には多くの論文が投稿予定でしたが、投稿取り消しされた方が数名おられたことが残念です。しかし、査読の結果15本が論文・実践論文・資料論文・研究速報として採録になりました。丁寧な査読をしていただいたおかげで、最初に投稿された論文と比較して、よりよい論文になったと思っています。

第3号に続いて論文投稿数が多く、このような論文誌を発刊できたことをうれしく思っています。

今年度の情報学研究所の1年を振り返ってみますと、3年目よりも新しい研究活動に取り組んだ結果、主任研究員をはじめとする研究員と客員研究員の皆さまには非常に多くの時間を情報学研究所のために裂いていただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

私自身は、情報学研究所としての研究活動に慣れたので、スムーズにこれらが行えたかという点、より忙しさが増したというのが実感です。というのも、新しい試みをいくつか行ったためです。

昨年度より、プロジェクト研究を行うことになり、次のようなプロジェクトを継続中です。

- (1) タブレット、クラウドの教育利用研究
- (2) センサーの教育利用研究
- (3) 語学教育システム開発・利用研究
- (4) 経済・経営へのICT利用研究
- (5) 著作権研究
- (6) 統計データ解析研究
- (7) 数学応用研究

これらのプロジェクト単位で、研究会およびワークショップを行うことにしました。これらの成果については、この論文誌に掲載されております。

また、研究会およびワークショップの詳細については、年2回発行しております専門誌『Informatics』をご覧ください。

タブレット、クラウドの教育利用研究プロジェクトでは、クラウド利用である「日経パソコンEdu」をコン

ピュータ入門クラスで本格的に利用させました。そして、その結果を、札幌学院大学で行われたPCカンファレンスで『クラウド教材を用いた一般情報教育の結果と考察』、というタイトルで研究発表しました。発表の内容について、8月9日付日経BP社「PC Online」にて、私の発表が、教育とICTの学会「2014 PCカンファレンス」で、学生のクラウドサービス活用状況の調査結果等を報告したことについての記事が掲載されました。

また、センサーの教育利用研究プロジェクトでは、2015年3月に行われる国際学会 Site2015 Las Vegas, Nevada, US: March 2-6, 2015 で、”Application to General Education to Activate Students’ Multiple Intelligences” というタイトルで論文が Accept されました。これは、AACE (Association for the Advancement of Computing in Education) が開催している学会のうちの一つです。今回もラスベガスにある大きなホテルである Rio All-Suites Las Vegas Hotel & Casino で5日間行われ、招待講演やワークショップなど盛りだくさんのプログラムとなっています。

語学教育システム開発・利用プロジェクトとして、堀江主任研究員を中心にランチョンミーティングを行い、論文も投稿予定です。

また、私は情報処理学会一般情報教育委員会での科研費プロジェクトから依頼され、ベトナムのハノイ国家大学に一般情報教育の現状について調査研究に行ってきました。

この調査内容については、この論文誌に資料論文として掲載いたしました。ここでは写真を掲載いたします。



写真1 大学全体図

写真1は大学全体図ですが、赤い部分が現在建物のあるところであり、まだ拡張予定のところもあります。

全体図の後ろに見えるメインの建物は、現在改修中でした。

次に大学の正面を写真2に示します。



写真2 大学の正面



写真3 正面右の建物

ベトナムは、フランスに統治されていた時代もあり、その時に建てられた建物は写真3のようにフランス風になっています。大学だけでなく、町の様々な建物がフランス風になっています。

調査に訪問した日は丁度先生や教師に対して感謝する日に近く、写真4のような風景が見られました。学校では感謝パーティが開催され、生徒等から先生に贈り物が渡されるそうです。



写真4 教師への感謝デー

どの先生にもお花が贈られる訳ではなさそうで、寂しくその日を過ごす先生もいるのでしょう。

ベトナムの大卒の平均給与は日本の10分の1程度ですが、コンピュータの価格は日本とほとんど同じです。そのような事情から、コンピュータールームの中の機器には写真5のように鉄格子に鍵がかかっていました。

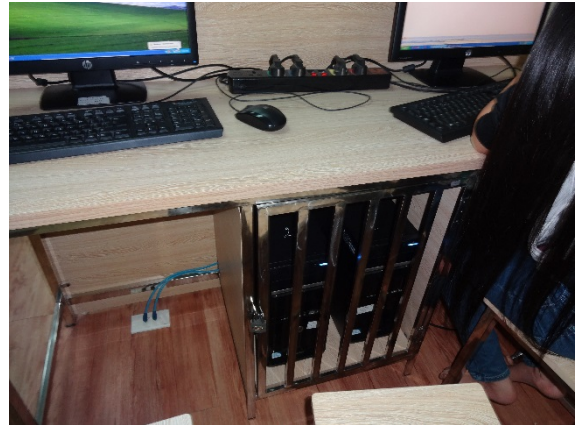


写真5 コンピュータールーム

実際の授業を見学させていただいた折の様子を、写真6に示します。



写真6 一般情報教育の実習

今年度の研究所の研究活動としては、前年度と同様に研究会を6回開催しました。また、ワークショップは昨年より多く、6回行う予定です。

また、第3回の講演会の「モバイル・クラウド・グローバル」というテーマでしたが、第4回講演会は「クラウドが拓く未来」というタイトルで、アマゾンデータサービスジャパンの滝口開資男に講演およびデモンストレーションをしていただきました。参加者は約330名で、アンケート結果でも好意的な意見が寄せられました。これらの詳細については、「informatics 7」に掲載予定です。

最後に、論文誌を発刊するに当たり、論文のメタ査読と査読を引き受けていただいた先生方に、心より感謝の意を表します。

今後とも先生方の研究成果を、情報学研究所の論文誌にご投稿下さるよう、お願い申し上げます。